



SEA-BAND 誕生ストーリー

ダニエル・チョイ（Daniel Choy）は遠洋航海船舶の医師でした。1980 年前半、Dr. チョイが乗っていた船は北アメリカ沖にて大きな嵐に遭遇、船の荷物、酔い止めの薬も船外に流出してしまいました。船酔いする船員に対し、酔い止め薬を渡すことが出来なく困った Dr. チョイは、若いころ学んだ伝統的な東洋の酔い止め方法を思いだし、「手首のこのポイントを押すと気分が楽になるよ」と船員たちに言い出しました。Dr. チョイの言う通り船員たちが行ったところ、指で押さえている間は吐き気がおさまり、指を離すとまた吐き気が戻りました。

Dr. チョイは、副作用もなく継続して手首のポイントを押さえるだけで吐き気を抑えるリストバンドを考案しようと考え、ヨット好きの事業家ハーリー・ジョナス Jr. 氏が SEA-BAND を製品化しました。

その後、SEA-BAND は様々な臨床試験を経て、英国・ユーロ圏においては 2001 年に医療器具として Medical Device Agency の承認を得ました。米国においても 2004 年に医療器具として Food and Drug Administration の承認を得ました。乗り物酔い、妊婦のつわり、手術後の麻酔から起こる吐き気等の緩和具として世界 50 カ国以上で販売されております。

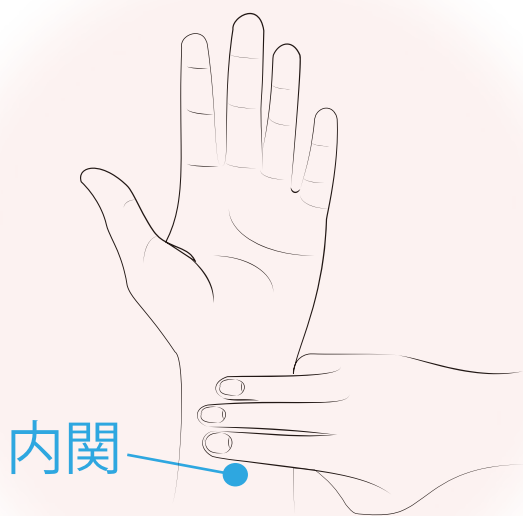


• Medical Device Agency : Ref.No.CA001339
Class I /Article12 Regulation14 (15 Feb. 2001)



• Food and Drug Administration : Class II /Federal
Resister Title21 Part 800 to 898 (7 Jan. 2004)

つらい乗り物酔いやつわりに。



POINT1

内関は腕にある、内蔵の働きに深く関わるツボです。

特に、吐き気・胃痛・乗り物酔い・二日酔い・しゃっくりなど消化器系の不調に効果があります。

手と手首の境目になっているしわの中央から、指をひじに向かって三本分置いたところが「内関」です。

POINT2

内関のツボにこのリストバンドの内側のツボ押しボールを当てることによってつらい乗り物酔いやつわりの症状が緩和されます。

